



当事業所は介護保険制度の担い手となり19年目を迎えます。昨年の「医療・介護の同時改定」により、在宅療養が重視され医療と介護の連携が必須となっております。

当事業所は医療と介護の連携にとどまらず「支援の輪」を広げ「互いに支え合う」を目標に地域作りの一助となるべく、職員一同頑張っております。

平成最後、新元号に変わる本年、要介護となられても可能な限り自宅で自立した生活を送ることができるよう支援させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

所長 平鍋 真由美

